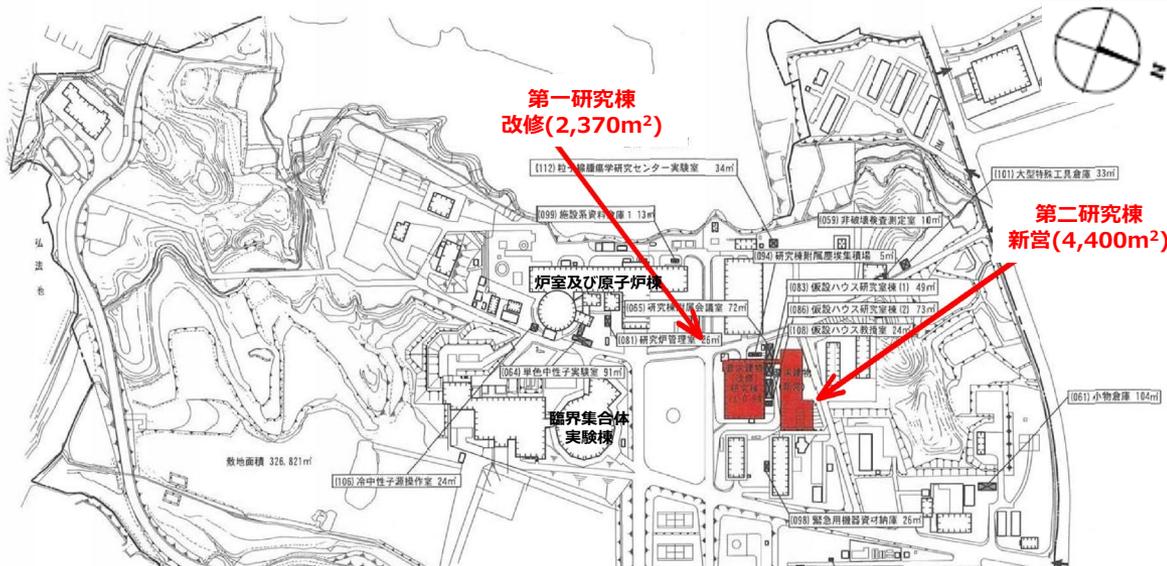




## 第二研究棟新営 建物概要

第一研究棟改修 (2,370㎡) 、 第二研究棟新営 ( 4,400㎡ ) 、 ライフライン更新



### 【目的】

- ▶ 最先端な複合原子力科学研究分野の推進と教育研究環境の充実
- ▶ 共同利用・共同研究拠点の機能強化
- ▶ 原子炉・放射線施設等の安全管理機能強化、ライフラインの更新による事故の未然防止、安心安全な施設設備整備・長寿命化

### 第一研究棟改修

3F	会議室・ アクティブ・ラーニングスペース
2F	教員室・研究室 ・実験室
1F	実験室 ・共同利用者控室

渡り廊下

### 第二研究棟新営

3F	教員室・研究室
2F	教員室・研究室
1F	安全管理部門 緊急時対応拠点
地下1F	実験室・設備室

### 建物概要

	完成	実施中
名称	第二研究棟 (新営)	第一研究棟 (改修)
建築年	令和5年	昭和39年
面積	4,400㎡	2,370㎡
高さ	18.5m (地下階含む)	12.95m
階数	地下1階地上3階	地上3階
構造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
ライフライン (自動火災報知設備、放送設備、 屋内消火栓) の更新		

### 施工業者

- ・建築：株式会社松村組
- ・電気：株式会社きんでん
- ・機械：柳生設備株式会社

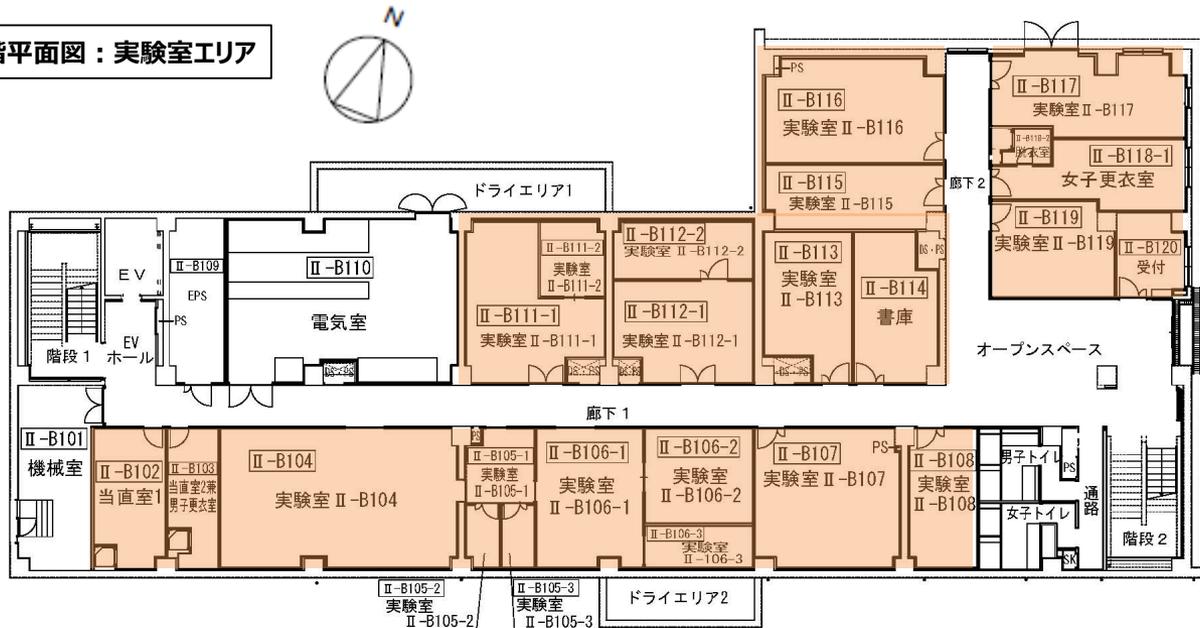
・工事期間：2022(R4)年1月11日～2024(R6)年3月29日 (予定)

・工事の広報：第二研究棟新営その他工事/ライフライン更新 整備事業  
[https://www.rri.kyoto-u.ac.jp/research\\_building](https://www.rri.kyoto-u.ac.jp/research_building)

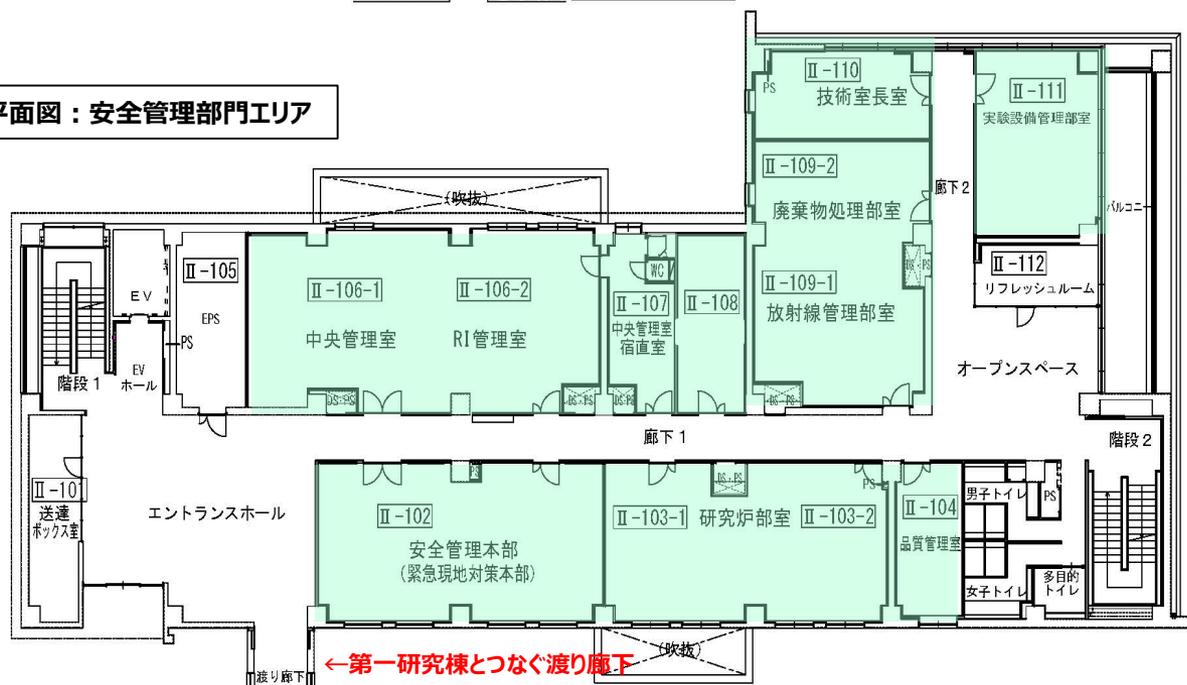


第二研究棟  
完成外観  
← (北東側より)

地階平面図：実験室エリア

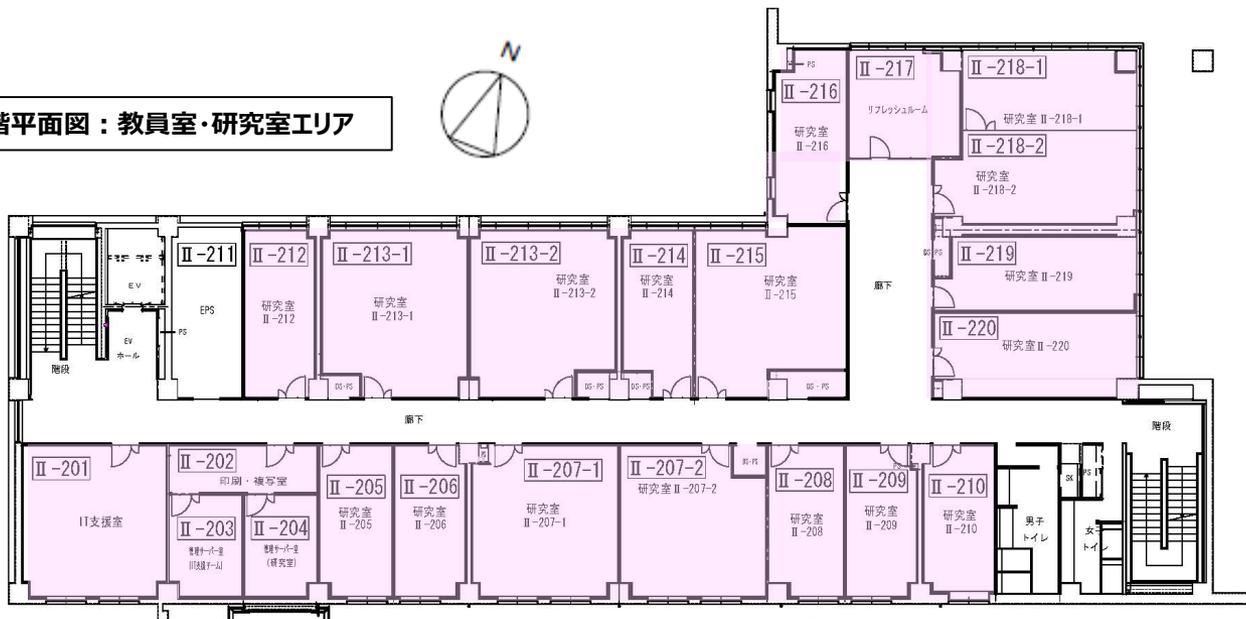


1階平面図：安全管理部門エリア

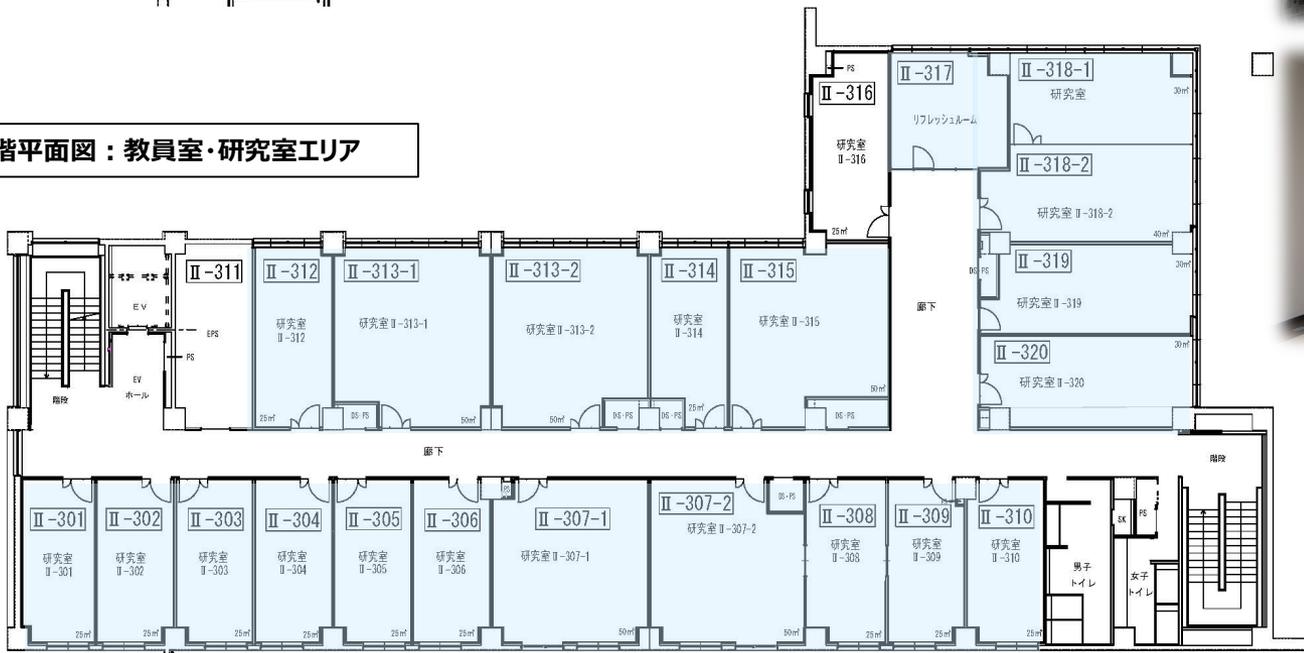


←第一研究棟とつなぐ渡り廊下

2階平面図：教員室・研究室エリア



3階平面図：教員室・研究室エリア



太陽光パネル

屋上写真

## 外観デザインコンセプト

- 第二研究棟の建設配置は、既存研究棟北側の空地を利用し、**L型**の建物型で計画した。  
特に北東面は全面に空地が広がり、眺望がよく、この**北東面外観が研究棟群の顔**となる。  
東面には、研究者の交流を誘発するリフレッシュルームやベランダを配置している。
- 熊取団地の拠点となる「**原子力研究の次世代**」をイメージしたシンボリックな建物  
→最先端の研究をイメージした洗練されたシャープな外観デザイン  
→既存研究棟などとは異なる外壁の色彩でシンボリックに
- 安全で開かれた施設を連想させる  
開かれた… →高層棟の上部へいくほど大きくなる底でオープンなイメージ  
安全な… →高層棟を三方で囲ったデザイン  
発展、次世代、進化、開かれた、融合、安全



## サイン計画コンセプト

- 地階はオレンジ色、1階は緑色、2階はピンク色、3階は水色とフロアカラーを設け、各フロアの室名サイン等やリフレッシュルームの壁紙一面を、フロアカラーを取り入れる形で計画した。



← 総合フロアサイン



↑ トイレピクトサイン

← 室名サイン

## 熊取町の街を見渡せる眺望（屋上より）



← 南東方面



北東方面 →